

ID LETTER



*Merry
Christmas!*

特集 *IDentity* から、わくわくの輪が広がるように

第51期第2四半期決算のご報告 2018.4.1～2018.9.30

ID INFORMATION DEVELOPMENT

次の50年に向けて、 IDが変わろうと しています。



代表取締役社長

船越真樹

Q1 2019年3月期第2四半期は？

システム運営管理事業での買収子会社の寄与や、ソフトウェア開発事業で受注環境が好調に推移したことから、売上高は131億71百万円（前年同期比22.5%増）となりました。営業利益に関しては、収益性向上に向けた営業努力やプロジェクト管理の強化などにより、7億34百万円（同149.2%増）となりました。

Q2 持株会社制への移行については？

当社は持株会社制への移行のスケジュールを見直しておりましたが、今般、移行の準備が整ったため、2019年1月24日開催予定の臨時株主総会での承認を条件に、2019年4月1日に持株会社制へ移行する予定です。当社は来年10月20日に創立50周年を迎えます。新たな体制で次の50年に向けて邁進してまいります。

Q3 RPAを活用した新サービスは？

近年、RPAの導入を検討する企業が増えています。当社は子会社フェスの得意分野であるITIL®(注)をベースとした業務分析モデルと、長年のシステム運営管理のノウハウを掛け合わせた新たなRPA業務改革サービスを開始しました。コンサルティング業務を強化し、お客様の業務効率化を支援してまいります。

(注)ITIL®(IT Infrastructure Library)とは、システム運用におけるベストプラクティスを体系的にまとめた知識ベースです。

Q4 2019年3月期の見通しは？

引き続き市場環境や受注環境は堅調で、買収した子会社の寄与もあり、売上高は266億円（前期比14.6%増）を見込んでいます。また収益面においては、増収にともなう増加に比べ、営業努力や、生産性向上に向けた施策により、16.4億円（同30.7%増）の営業利益を見込んでいます。

ID TOPICS 8月～10月

- 8**
- 13日 新宿アルタビジョンにてCM放映中！（MAGNET by SHIBUYA109でも放映中！）
 - 15日 「日の丸セーラーズ」から世界チャンピオン誕生！
 - 31日 慶應義塾大学とサイバーセキュリティ分野での協業を開始
 - 31日 アイルランド ActionPoint Technology Groupとアジャイル開発に関する覚書締結

- 9**
- 18日 ベンチャーファンドへの出資
 - 18日 組織変更ならびに人事異動
 - 26日 ビーチクリーンボランティア活動を実施

- 10**
- 5日 オランダ王国 ザ・ハーグ・セキュリティ・デルタに日本企業として初の加盟
 - 11日 AI-SOCの販売事業を推進
 - 26日 業績予想の修正
 - 31日 会社分割（新設分割）による持株会社制への移行、定款の一部変更および臨時株主総会招集のための基準日設定等
 - 31日 「RPA業務改革サービス」を開始

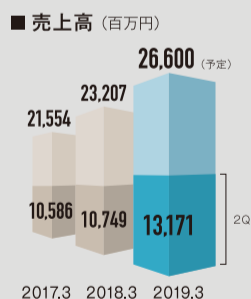
売上高

2018年3月期第2四半期
107億49百万円

過去最高を更新
7期連続増収

2019年3月期第2四半期

131億71百万円



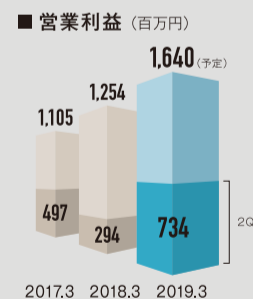
営業利益

2018年3月期第2四半期
2億94百万円

過去最高を更新

2019年3月期第2四半期

7億34百万円



従業員1人当たり売上高

2018年3月期第2四半期
518万2千円

2019年3月期第2四半期

543万1千円

4.8%増加

売上高営業利益率

2018年3月期第2四半期
2.7%

2019年3月期第2四半期

5.6%

2.9ポイント増加

会社情報

商号 株式会社インフォメーション・ディベロプメント(略称:ID) INFORMATION DEVELOPMENT CO., LTD.
本社所在地 〒102-0076 東京都千代田区五番町12番地1 番町会館 TEL.03-3264-3571(代表) FAX.03-3264-3618
創立 1969年(昭和44年)10月20日
資本金 5億9,234万円
社員数 2,425名(連結、2018年9月30日現在)

役員

代表取締役社長 船越 真樹
代表取締役副社長 山川 利雄
取締役兼専務執行役員 小池 昭彦
取締役兼専務執行役員 七尾 静也
取締役 杉浦 章介
取締役 林 慶治郎
常勤監査役 田村 公一
監査役 岡崎 正憲
監査役 増田 裕明
監査役 長谷川 啓一
専務執行役員 南 耕治
専務執行役員 山内 佳代
専務執行役員 土谷 明

2018年6月22日現在

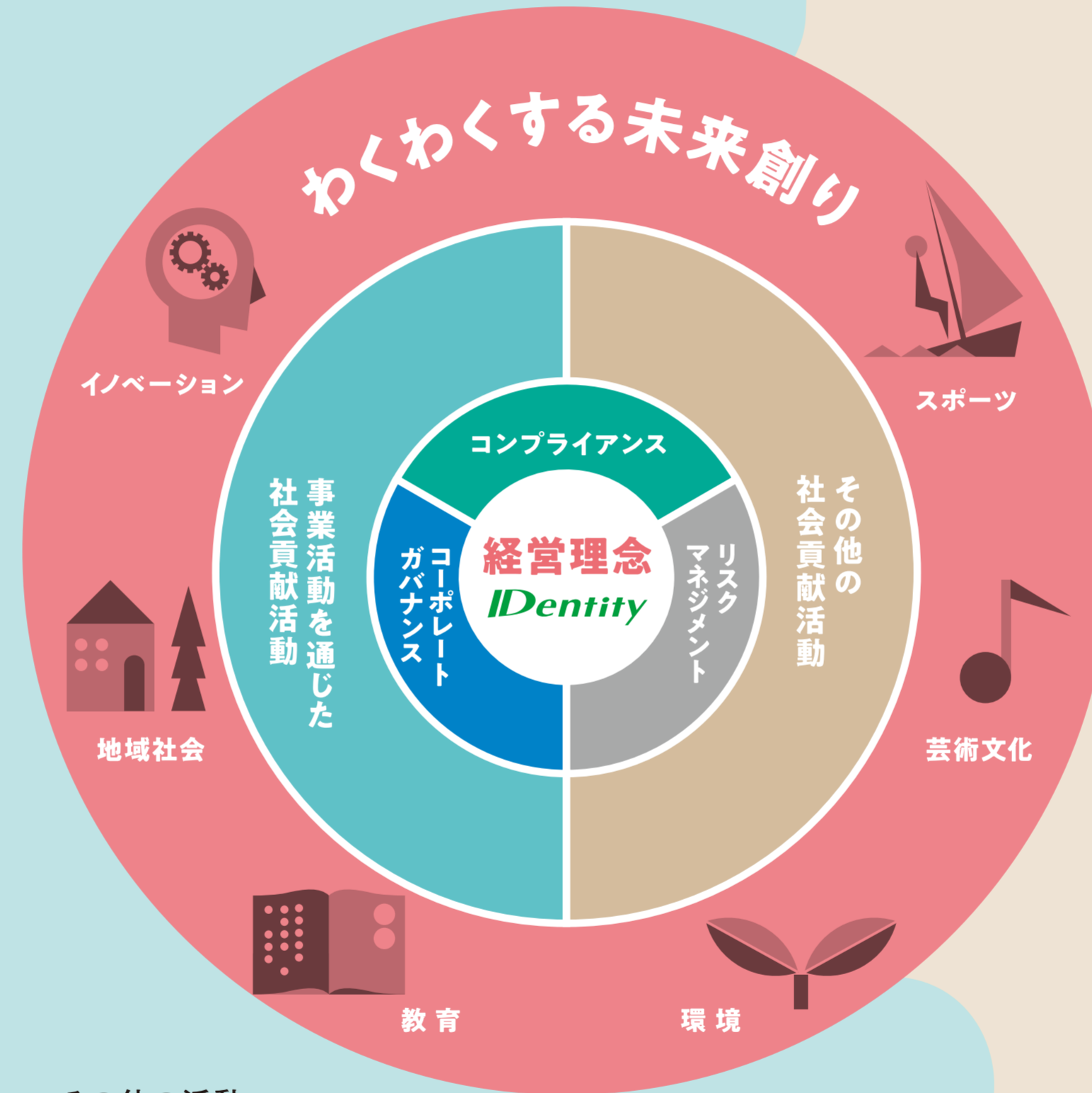
執行役員 加藤 剛
執行役員 木村 由美子
執行役員 坂本 康
執行役員 黒崎 祐三
執行役員 高橋 かおり
執行役員 藺田 健一
執行役員 青井 淳一
執行役員 石倉 隆一

※取締役 杉浦章介、林慶治郎は社外取締役です。 ※監査役 岡崎正憲、増田裕明、長谷川啓一は、社外監査役です。

IDentity^(注)から、 わくわくの輪が広がるように

IDグループは「わくわくする未来創り」というミッションのもと、
社会、生活を支える技術を提供し、より良い社会の実現に向けて努力を続けています。
また、CSRの推進を次期中期経営計画(2019.4~2022.3)の方針の1つとし、事業活動を通じて、
複雑な社会課題の解決に取り組み、企業価値を高めてまいります。

(注)IDentityはIDグループのビジネス・ポリシーでアイデンティティとの合成語です。



その他の活動

ダイバーシティの推進

近年、さまざまなバックグラウンドを持った人を受け入れていこうとする機運が高まっています。IDグループでは、性別や国籍、身体的特徴や価値観などの多様性を尊重し、さまざまな人びとがともに働くことができるよう職場環境を整えています。

- > 2015年6月に4度目の「くるみん」マーク取得
- > 2016年8月に「えるぼし」マーク取得
- > 2017年11月に「健康優良企業」に認定
- > 女性管理職を積極的に登用、外国籍社員の積極的な採用
- > スーパーフレックスタイム制度の導入
- > ボランティア休暇制度の導入

LED照明による消費電力の削減

2015年9月のLED照明切り替えにより、本社ビルの電気料金は年間4割減少しています。



事業活動を通じた社会貢献活動

事例1 高度サイバー攻撃を検知・防止 — サイバーセキュリティサービスの提供

情報漏洩は企業にとって、経済的な損失にくわえ、企業イメージを損なう大きなリスクです。IDグループは、お客さまに「Seceon OTM」、「CyberX」など最先端セキュリティサービスを提供しています。進化するサイバー脅威に対応し、これからは新しいコンテンツの発掘と提供に努めていきます。



事例2 イノベーション促進への貢献 — 「ベンチャー・カフェ 東京」への参画

ベンチャー・カフェは起業家や投資家、研究者などが集まり、イノベーション創出を支援する国際的コミュニティで、今年3月東京・虎ノ門にアジア初の拠点がオープンしました。IDグループは、スポンサーとして、社会のイノベーションを支援するとともに、このイノベーションの場を活用していきます。



事例3 障がい者雇用機会の創出 — 植物工場 愛ファクトリーの取り組み

IDグループは2014年1月に農産物の生産、加工などを主要事業とする「愛ファクトリー」を鳥取県鳥取市に設立しました。2017年には、鳥取県より障がい者雇用功労者として表彰されました。今後もダイバーシティの推進および地域活性化に向け、さまざまな取り組みをしていきます。



事例4 ミャンマーにおけるIT人材育成 — ITトレーニングアカデミーの運営

ミャンマーは、経済発展にともなうITインフラの整備が進み、IT技術者の不足が課題となっています。IDグループは、2015年6月にITインフラ構築のための実践技術の習得、およびビジネスマナー、コンプライアンスなどを学習できるITトレーニングアカデミーを開校し、IT技術者の育成を行っています。



その他の社会貢献活動

日本セーリング連盟 「日の丸セーラーズ」へ協賛支援

2020年東京オリンピックセーリング競技日本代表選手の強化支援、大会運営サポートを行っています。また、大会の舞台となる江戸島周辺の清掃ボランティアも実施しています。



芸術文化活動の支援

優れた芸術や文化をより多くの人びとが楽しめるように、新内浄瑠璃鶴賀流第11代家元鶴賀若狭権師匠(人間国宝)、日本スペインギター協会、およびクラシックオーケストラの活動を支援しています。



地雷処理活動のサポート

パラオ共和国の周辺海域における安全な生活環境整備のため、認定NPO日本地雷処理を支援する会 JMAS (Japan Mine Action Service) パラオを支援しています。



大山開山1300年祭の支援

鳥取県の名峰「大山」が2018年に開山1300年を迎えるにあたり、大山山麓地域の自治体や企業等が一体となって、伯耆国「大山開山1300年祭」を展開。当社も環境整備事業への寄付や記念クラシックコンサートなどをサポートしました。



さまざまな教育支援

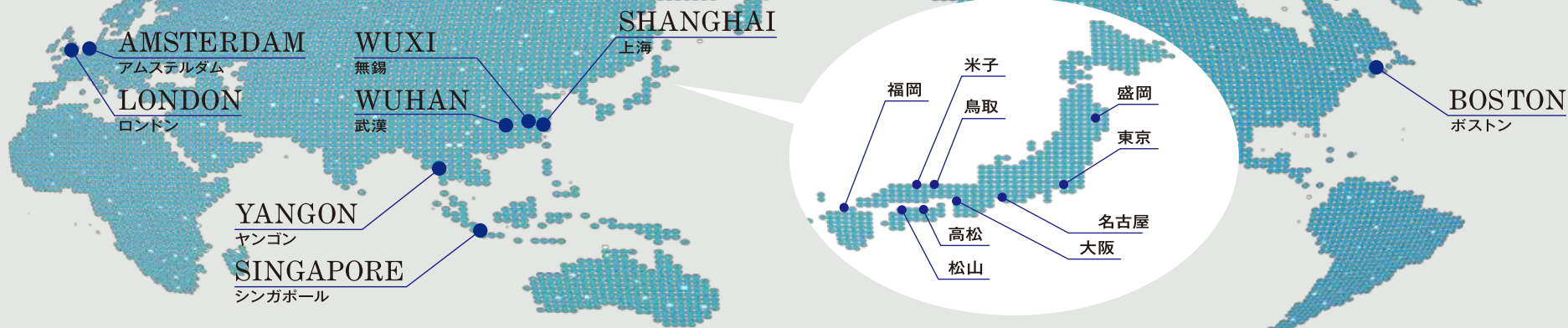
中国湖北省武漢市にある華中科技大学および江漢大学において日本語学習奨学金制度を設立、さらに湖北経済学院計算機学院において日本語講座基金を設立し学生をサポート。また、世界各国から日本へ学びに来る留学生の社員寮への受け入れも実施しています。



次世代育成のための研究助成

箱庭療法などの心理療法や臨床心理学の研究活動を行っている岩宮恵子氏の支援を通じて、子どもの健全な精神の発達を支えています。





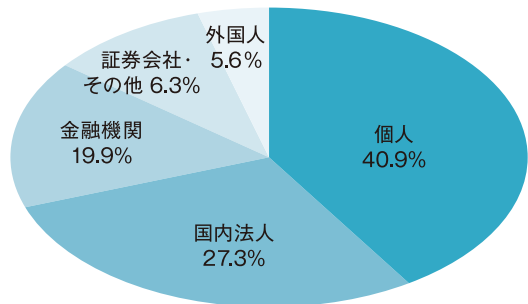
国内・海外
ネットワーク
(2018年9月30日現在)

- 株式会社ブライド
資本金: 4,000万円 ID出資比率: 92.7%
- 株式会社フェス
資本金: 6,000万円 ID出資比率: 100%
- 艾迪系統開発(武漢)有限公司
(略称: ID武漢)
資本金: 110万米ドル ID出資比率: 100%
- INFORMATION DEVELOPMENT SINGAPORE PTE. LTD.
(略称: IDシンガポール)
資本金: 573万シンガポールドル ID出資比率: 100%
- INFORMATION DEVELOPMENT AMERICA INC.
(略称: IDアメリカ)
資本金: 550万米ドル ID出資比率: 100%
- 愛ファクトリー株式会社(特例子会社)
資本金: 5,000万円 ID出資比率: 100%
- IDM INFORMATION DEVELOPMENT MYANMAR CO., LTD.
(略称: IDミャンマー)
資本金: 127万米ドル ID出資比率: 83.9% IDシンガポール出資比率: 16.1%

■ 株式情報

発行可能株式総数	36,000,000株
発行済株式総数	12,044,302株
株主総数	3,726名

■ 株式数別構成



※株式情報および株主状況は、2018年9月30日現在の情報に基づいています。
※自己株式(5.35%)は、証券会社・その他に含まれます。

■ 大株主の状況

株主名	持株比率(%)
株式会社エイ・ケイ	10.91
株式会社みずほトラストシステムズ	8.98
ID従業員持株会	6.47
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4.56
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4.16
みずほ信託銀行株式会社	3.71
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)	3.12
有限会社福田商事	2.63
TDCソフト株式会社	2.49
船越朱美	1.74

※持株比率は、自己株式(644千株)を発行済株式総数から控除して算出しております。

株式についてのご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	6月	
基準日	定時株主総会の議決権	3月31日
	期末配当金	3月31日
	中間配当を行うときの中間配当金	9月30日
公告の方法	当社ウェブサイト上の電子公告により行います。 https://www.idnet.co.jp ただし、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。	
株主名簿管理人 同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部	
郵送物送付 および お問い合わせ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-288-324(フリーダイヤル)	
単元株式数	100株	
証券コード	4709(東京証券取引所 市場第一部)	

株式会社 インフォメーション・ディベロップメント

〒102-0076 東京都千代田区五番町12番地1 番町会館 TEL.03-3264-3571(代表)

IRお問い合わせ先: 社長室 TEL.03-3262-5177 >>> <https://www.idnet.co.jp>



※当社ウェブサイトへのアクセスができます。